

高校世界史プリント (過去問類似)

二つの世界大戦 No.3

名前

得点

/10

問1 1931年にニューヨークで完成した超高層ビルであるエンパイア=ステートビルの建設背景となった、1929年10月のニューヨーク株式市場の大暴落に端を発する世界的な経済混乱を何というか。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. 金融恐慌 2. 石油危機 3. 昭和恐慌 4. 世界恐慌

問2 1929年に開催されたインド国民会議のラホール大会において、イギリスからの完全独立を目指して採択された決議 (スローガン) を何というか。 (2016年 全国公立入試 類似)

1. スワラージ 2. スワデーシ 3. サティヤーグラハ 4. プールナ=スワラージ

問3 1912年、イタリア=トルコ戦争によるオスマン帝国の劣勢に乗じて、セルビア、ブルガリア、ギリシア、モンテネグロの4国が結成した対外同盟を何というか。この同盟は、パン=スラブ主義を推進して南下政策を有利に進めようとするロシアの支援によって結成され、同年のオスマン帝国に対する宣戦布告と戦争の引き金となった。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. 三国協商 2. 三帝同盟 3. 三国同盟 4. バルカン同盟

問4 第一次世界大戦後のイタリアにおいて、ムッソリーニ率いる政権が推進した、思想・言論の統制や、自給自足を目指した国産衣服の生産奨励、フランスからのファッション影響の排除などを特徴とする、全体主義的な政治思想や体制を何というか。

(2025年 全国公立入試 類似)

1. ミリタリズム 2. アナーキズム 3. ナチズム 4. ファシズム

問5 第一次世界大戦後のオスマン帝国崩壊の危機において、祖国の独立を守る運動を率いて新たな共和国を樹立し、初代大統領として政教分離や文字改革などの徹底した近代化政策を推進した人物は誰か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. レザー=ハーン 2. サード=ザグルール 3. ムスタファ=ケマル 4. イブン=サウード

問6 第一次世界大戦後のイタリアでは、戦勝国でありながら領土獲得が期待を下回ったことへの不満や、戦後の経済混乱による社会不安が広がっていた。こうした中、1922年にムッソリーニ率いるファシスト党が政権獲得を目指して敢行し、国王に圧力をかけて内閣を組織する契機となった武装デモ行進を何というか。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. ラテラノ条約 2. フィウメ占領 3. ローマ進軍 4. コルフ島事件

問7 1931年9月、奉天郊外で日本の関東軍が南満洲鉄道の線路を爆破し、これを中国軍の仕業であると主張して軍事行動を開始し、満洲事変の契機となった事件を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 広安門事件 2. 万宝山事件 3. 柳条湖事件 4. 盧溝橋事件

問8 第一次世界大戦後のイタリアにおいて、政権獲得を目指すファシスト党の武装行動隊 (黒シャツ隊) が、1922年に首都に向けて行った軍事的なデモンストレーションを何というか。これにより国王エマヌエーレ3世はムッソリーニに組閣を命じ、ファシズム政権が誕生することとなった。 (2019年 全国公立入試 類似)

1. ローマ進軍 2. カップー揆 3. ミュンヘン揆 4. フランコ拳兵

問9 19世紀初頭に創設された近代的な大学 (現フンボルト大学) が置かれ、1910年代には相対性理論を提唱した物理学者が研究活動を行った、ドイツ帝国の首都であった都市はどこか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. ウィーン 2. ロンドン 3. リスボン 4. ベルリン

問10 日清戦争の講和条約である下関条約によって清から割譲され、日本が明治維新以降に初めて獲得した海外領土 (植民地) はどこか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 朝鮮 2. 台湾 3. 千島 4. 樺太

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 4 世界恐慌	1929年10月24日の「暗黒の木曜日」に始まったニューヨーク株式市場の大暴落は、世界恐慌へと発展した。エンパイア=ステートビルはこの混乱期である1930年代初頭（1931年）に完成した。
問2	答え 4 プーナ=スワラージ	1929年のラホール大会において、若手のネルーを議長とするインド国民会議は、従来の自治（スワラージ）にとどまらず、完全独立を意味する方針を決議した。これを受けて、翌1930年から第2次非暴力・不服従運動（塩の行進など）が開始された。
問3	答え 4 バルカン同盟	19世紀末から20世紀初頭にかけて、オスマン帝国の衰退に伴いバルカン半島では民族的・領土的対立が激化した。1912年、イタリア=トルコ戦争でオスマン帝国が敗勢に陥ると、ロシアの支援（パン=スラブ主義の推進）のもと、セルビア、ブルガリア、ギリシア、モンテネグロの4国が対オスマン帝国の同盟を結成した。これがバルカン同盟であり、同年に勃発した第1次バルカン戦争でオスマン帝国に勝利した。フランスなどの他国ではなく、ロシアが支援した点が重要である。
問4	答え 4 ファシズム	イタリアでは、第一次世界大戦後の社会不安を背景に、ムッソリーニ率いるファシスト党が台頭し、ファシズム体制が確立された。この体制下では、国家による強力な統制が行われ、経済面では自給自足（アウトアルキー）を目指して国産衣服の生産が奨励された。一方で、フランスなどの他国からの文化的影響は排除の対象となった。
問5	答え 3 ムスタファ=ケマル	第一次世界大戦後、ギリシア軍の侵入などに対して抵抗運動を組織したムスタファ=ケマルは、スルタン制を廃止してトルコ共和国を樹立した。彼は大統領に就任すると、カリフ制の廃止、アラビア文字からローマ字への変更、トルコ帽の着用禁止など、西欧化をモデルとした徹底的な政教分離（世俗化）改革を断行した。
問6	答え 3 ローマ進軍	第一次世界大戦後のイタリアでは、社会主義運動の台頭に対する地主や資本家の危機感を背景に、ムッソリーニ率いるファシスト党が支持を拡大した。1922年10月、同党は政権獲得を要求して武装デモを組織した。当時の国王ヴィットーリオ・エマヌエーレ3世は戒厳令の署名を拒否し、ムッソリーニに組閣を命じたことで、ファシスト政権が成立した。
問7	答え 3 柳条湖事件	関東軍が自作自演で鉄道を爆破し、中国東北部（満洲）の占領を開始した事件である。この事件を契機に満洲事変が勃発し、翌年には「満洲国」が建国された。1937年に北京郊外で発生し日中戦争の契機となった盧溝橋事件との区別が重要である。
問8	答え 1 ローマ進軍	1922年、ムッソリーニ率いるファシスト党は、政権奪取を狙って武装行動隊を首都に向かわせる「ローマ進軍」を実行した。当時のイタリア政府は戒厳令を敷こうとしたが、国王エマヌエーレ3世がこれを拒否し、ムッソリーニに組閣を命じたことで、ファシズム政権が成立した。
問9	答え 4 ベルリン	19世紀初頭に創設されたベルリン大学（現フンボルト大学）は、研究と教育の融合を掲げた近代大学のモデルとなった。1910年代には、相対性理論を提唱した物理学者アインシュタインが同大学に所属して研究活動を行っていた。
問10	答え 2 台湾	日本が明治維新以降に初めて獲得した海外領土は、1895年の日清戦争後に締結された下関条約によって割譲された台湾である。韓国併合が行われたのは1910年であり、台湾の獲得よりも後である。